

日本における新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）感染妊婦の実態把握のための多施設共同レジストリ研究

1. 研究の対象

西暦 2020 年 1 月 1 日より 2023 年 3 月 31 日までの間に、妊娠中に新型コロナウイルスに感染したと診断された方

2. 研究目的・方法

妊娠中に新型コロナウイルスに感染した妊婦さんの臨床情報を収集・解析を行い、我が国における妊娠に関わる新型コロナウイルス感染の実態を明らかにし、妊婦感染と母子感染の予防のための対策を講じること、ならびに周産期管理指針を作成することを目的とします。

研究期間： 承認日～2024 年 4 月 30 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：母体の基本情報

診断時年齢、妊娠歴、既往歴、身体所見、血液・画像検査結果

母体の新型コロナウイルス感染症の治療に関する情報

使用薬剤、呼吸器管理法、経皮的酸素飽和度の推移

妊娠期結の情報

流産、早産、分娩様式、出血量、週数、産科異常、妊娠合併症

出生児の情報

体重・身長・頭囲、アプガースコア、コロナウイルス感染の有無と症状
など

4. 外部への試料・情報の提供

代表機関へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。
対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究代表機関

神戸大学大学院医学研究科産科婦人科学分野 教授 山田秀人

研究協力機関

横浜市立大学附属病院

日本大学医学部附属病院

